

古くからの 交通の要所である 愛荘町を巡るコース

あいしょうちょう

愛荘町は鈴鹿山系からの豊かな清水と自然に恵まれ、さまざまな産業を発展させてきた地域です。伝統ある産業と近代的な工場など、多様な魅力に触れることができます。

手織りの里
金剛苑



UCC
滋賀工場



蔵元
藤居本家

① 10:00 手織りの里 金剛苑

藍染めや機織りの
体験ができます。



伝統的な織物（近江
上布、秦荘紬）に関
する資料館。



住所 滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外514

TEL 0749-37-4131

WEB <http://www.kongouen.co.jp/index.html>

(要予約)

② 13:00 UCC滋賀工場

コーヒー飲料の製
造見学、飲み比べ
が楽しめます。



世界で初めて缶
コーヒーを生み
だしたUCCの
技術が詰まって
います。



住所 滋賀県愛知郡愛荘町愛知川1343

TEL 0120-811-288

WEB <http://www.ucc.co.jp/factory/sgf/>

(要予約)

湖東
三山
SIC

車 約2分

所要時間は目安です。

車 約15分

車 約4分

愛知川駅からは

レンタサイクル『めぐりんこ』

<http://www.eonet.ne.jp/~e-machi/renntasaikuru.html>



③ 15:00 蔵元 藤居本家

酒蔵見学では酒造り
への熱い思いを
聞けます。



国の登録有形文化財。
全国でもめずらしい
総けやき造りの酒蔵。



住所 滋賀県愛知郡愛荘町長野793

TEL 0749-42-2080

WEB <http://www.fujiihonke.jp/>

(要予約)

立ち寄り情報

えちがわ

中山道愛知川宿

中山道は江戸時代に多くの旅人が
利用した歴史ある街道。
当時のままに残る建物からは、宿
場町として栄えた様子
がしのべられます。

ぶらり

しろ平老舗（和菓子屋）

慶応年間創業。
押菓子に用いる木型なども
展示されています。

<http://www.shirohei.com/>



金剛輪寺

湖東三山のひとつ。本堂は国宝に指
定され、紅葉の名所としても有名。

<http://kongourinji.jp/>



経済産業省

近畿経済産業局

INVEST KANSAI

滋賀県

【アクセス】

電車 近江鉄道「愛知川」

自動車 名神高速道路

湖東三山SICより15分

愛荘町

まだまだある！みどころ

コクヨ工業滋賀

おなじみコクヨのキャンパスノート
国内最大級のノート工場！

住所 滋賀県愛知郡愛荘町上蚊野312

TEL 0749-37-8017

(9:00~12:00、13:00~17:00)

WEB <https://www.kokuyo-shiga.co.jp/>



びんてまりの館

摩訶不思議、手まりの瓶詰め！？
見られるのは全国でここだけ！

住所 滋賀県愛知郡愛荘町市1673

TEL 0749-42-4114

WEB <http://www.town.aisho.shiga.jp/lib/info.html>



近江上布伝統産業会館

伝統の麻織物、近江上布の歴史が
わかる。機織り体験やショップも！

住所 滋賀県愛知郡愛荘町愛知川13-7

TEL 0749-42-3246

WEB <http://www.asamama.com/index.html>



約500施設の情報を掲載!!

関西の見学可能な産業施設ガイド

検索

Kansai Tourism
Supporters(*)

留学生がコースを体験！

※(公財)都市活力研究所が
運営する国際観光振興組織

① 手織りの里 金剛苑

ポイント 手軽な藍染から伝統工芸士の指導も受けられる機織り体験コースまで充実！

◆ハンカチの藍染め体験は、ゆっくりと丁寧に教えてくれたので、日本語でも十分理解できた。



◆工房で継承されてきた伝統と技術を目の前で見られたのは、訪れた者にしかできない貴重な経験。

◆資料館では、昔の製品や実際に使用していたその時代ごとの織機や織物を見ることができた。

◆母国の織物と比べてみたので、より楽しめた。



② UCC滋賀工場

ポイント 見学はすべてガイドつき。見学後はコーヒーとオリジナルの記念写真撮影が楽しめる。

◆UCCの歴史を学び、一本の苗木から育て、すべて鈴鹿山系の天然水を使うコーヒーづくりのこだわりを感じた。



◆ライン見学では、ミニクイズやコーヒーの飲み比べなど飽きさせなかった。

◆品質検査担当者とのモニターを通じた質疑応答では、検査を見る貴重な経験ができ、商品への信頼がさらにアップした。



③ 蔵元 藤居本家

ポイント 英語対応OK。自慢のお酒を試飲できます。

◆酒造りの工程をひとつひとつ丁寧に説明してくれたので理解が深まった。



◆先代当主自らが設計し、釘を使用せず、すべて県内のけやきで建てられた酒蔵は、当主の酒造りへの思いと建物の美しさが同時に感じられた。

◆お酒は水が命。仕込み水に使用する鈴鹿山系の伏流水も美味しかった。



見学を終えて

◆愛荘町の近江商人からはじまり今につながる産業と“水”との強い関係を知ることができた。

◆単なる観光とは違い、その土地の歴史や文化の素晴らしさを感じることができた。